

2019年度第1四半期決算の概要 及び 2019年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2019年8月1日

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

目次

1. 2019年度第1四半期決算の概要	
1) 2019年度第1四半期 事業概況及びトピックス	・・・1
2) 決算の概要	・・・2、3
3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（増減分析 対前年決算）	・・・4
4) 営業外損益及び特別損益の内訳	・・・5
5) 貸借対照表	・・・6
6) キャッシュ・フロー計算書	・・・7
2. 2019年度業績予想の概要	
1) 2019年度第2四半期以降のトピックス	・・・8
2) 業績予想の概要	・・・9
3) セグメント別 売上高・営業利益の予想（対前年決算）	・・・10
4) セグメント別 営業利益の予想（対前回予想：上期）	・・・11
5) 営業外損益及び特別損益の内訳	・・・12、13
6) キャッシュ・フロー計算書	・・・14
3. 補助資料	・・・15～23

1. 2019年度第1四半期決算の概要

1) 2019年度第1四半期 事業概況及びトピックス

<事業概況>

- ◆**モビリティ**：グローバルな自動車生産の減速がある中、エラストマー、機能性コンパウンドの販売は減少したが、ポリプロピレン・コンパウンドは主に日系顧客向けを中心に販売を維持。また機能性ポリマーも、全般としてICT関連需要が停滞する中で、確実な需要に的確に対応した。
- ◆**ヘルスケア**：ビジョンケア材料、歯科材料の販売は堅調に推移。不織布は、日本からの紙おむつの輸出減の影響を受けた。
- ◆**フード&パッケージング**：コーティング・機能材の販売は安定的に推移。機能性フィルム・シートは包装フィルム分野の販売が減少。農薬は、需要は堅調に推移したものの、販売は時期ずれ等により減少した。
- ◆**基盤素材**：内需堅調継続。ナフサクラッカー等の稼働は、市原工場の設備不具合による影響で低下したものの、概ね高水準で推移。フェノールの海外市況は前年を下回る水準で推移。

<第1四半期のトピックス>

- ・タイにおけるPPコンパウンド生産能力増強
(19年5月発表、13,000トン/年、20年6月営業運転開始予定)
- ・ASML社とEUVペリクル事業のライセンス契約締結 (19年5月)

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘要	18年度 4-6月決算	19年度 4-6月決算	増減	増減率
売上高	3,563	3,428	△ 135	△4%
営業利益	263	207	△ 56	△21%
営業外損益	51	△ 9	△ 60	—
経常利益	314	198	△ 116	△37%
特別損益	△ 5	△ 14	△ 9	—
税金等調整前 四半期純利益	309	184	△ 125	△40%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	235	125	△ 110	△47%

為替レート(円/US\$) 109 110 + 1

国産ナフサ(円/KL) 48,800 45,400 △ 3,400

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	19年3月末	19年6月末	増減	増減率
有利子負債	4,850	5,084	234	5%
Net 有利子負債	3,740	4,175	435	12%
自己資本	5,519	5,492	△ 27	△0%
Net D / E レシオ (倍)	0.68	0.76	0.08	—
自己資本比率 (%)	36.8	36.8	0.0	—

(単位：社)

摘 要	19年3月末	19年6月末	増減
連結対象会社数			
連結子会社	116	116	0
持分法適用会社	39	39	0
連結対象会社計	155	155	0

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳		
	18年度 4-6月決算	19年度 4-6月決算	増減	18年度 4-6月決算	19年度 4-6月決算	増減	数量差	交易条件	固定費他
モビリティ	973	941	△ 32	108	101	△ 7	△ 1	△ 2	△ 4
ヘルスケア	362	352	△ 10	36	38	2	△ 2	3	1
フード & パッケージング	475	456	△ 19	33	33	0	△ 8	3	5
基盤素材	1,701	1,635	△ 66	110	61	△ 49	△ 8	△ 44	3
その他	52	44	△ 8	△ 24	△ 26	△ 2	-	-	△ 2
合計	3,563	3,428	△ 135	263	207	△ 56	△ 19	△ 40	3

4) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-6月決算	19年度 4-6月決算	増減
持分法投資損益	45	18	△ 27
金融収支	2	1	△ 1
為替差損益	6	△ 6	△ 12
その他の	△ 2	△ 22	△ 20
営業外損益 合計	51	△ 9	△ 60

特別損益

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-6月決算	19年度 4-6月決算	増減
資産売却益	1	1	0
特別利益計 (A)	1	1	0
固定資産処分・売却損	4	3	△ 1
減損損失	-	6	6
投資有価証券評価損	2	-	△ 2
関連事業損失	-	6	6
特別損失計 (B)	6	15	9
特別損益 合計 (A-B)	△ 5	△ 14	△ 9

5) 貸借対照表

(単位：億円)

摘 要	19年3月末	19年6月末	増減	摘 要	19年3月末	19年6月末	増減
流動資産	(7,867)	(7,535)	(△ 332)	負債	(8,694)	(8,635)	(△ 59)
現預金	1,111	909	△ 202	買掛債務	1,639	1,442	△ 197
売掛債権	3,106	2,928	△ 178	有利子負債	4,850	5,084	234
たな卸資産	3,019	3,024	5	その他	2,205	2,109	△ 96
その他	631	674	43	純資産	(6,317)	(6,271)	(△ 46)
固定資産	(7,144)	(7,371)	(227)	株主資本	5,329	5,354	25
有形固定資産	4,431	4,651	220	その他の包括利益 累計額	190	138	△ 52
無形固定資産	294	299	5	非支配株主持分	798	779	△ 19
投資等	2,419	2,421	2	合 計	15,011	14,906	△ 105
合 計	15,011	14,906	△ 105				

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	18年度 4-6月決算	19年度 4-6月決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	255	116	△ 139
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 151	△ 196	△ 45
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	104	△ 80	△ 184
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	44	△ 116	△ 160
IV. その他	3	△ 8	△ 11
現預金等増減	151	△ 204	△ 355

2. 2019年度業績予想の概要

1) 2019年度第2四半期以降のトピックス

<トピックス(予定)>

- ・台湾における半導体製造工程用テープ「イクロステーブ™」 営業運転開始
(19年9月、380万m²/年)
- ・日本におけるガラス長繊維強化ポリプロピレン (GFPP) 「モストロン® -L」 営業運転開始
(19年9月、3,500トン/年)
- ・北米におけるガラス長繊維強化ポリプロピレン 営業運転開始
(19年10月、3,500トン/年)
- ・北米におけるミラストマー 営業運転開始
(19年11月、6,000トン/年)

2) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘要	18年度決算 (a)		19年度予想 (b)		増減 (b)-(a)		19年度前回予想 (19.5.15発表)	
	4-9月	年度	4-9月	年度	年度	%	4-9月	年度
売上高	7,209	14,829	6,850	15,400	571	4%	7,450	15,400
営業利益	497	934	380	1,050	116	12%	420	1,050
営業外損益	87	96	△ 20	50	△ 46	-	20	50
経常利益	584	1,030	360	1,100	70	7%	440	1,100
特別損益	△ 27	23	△ 30	△ 50	△ 73	-	△ 30	△ 50
税金等調整前 当期純利益	557	1,053	330	1,050	△ 3	△0%	410	1,050
親会社株主に帰属する 当期純利益	418	761	200	760	△ 1	△0%	280	760
為替レート(円/US\$)	110	111	110	110	△ 1		110	110
国産ナフサ(円/KL)	51,150	49,400	42,700	46,000	△ 3,400		46,000	46,000

配当	中間	期末	中間	期末	中間増減	期末増減	中間	期末
	50 円/株	50 円/株	50 円/株	50 円/株	+0円/株	+0円/株	50 円/株	50 円/株
通期 100 円/株		通期 100 円/株		通期 +0円/株		通期 100 円/株		

3) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高					営業利益				
	18年度決算		19年度予想		増減 (b) - (a)	18年度決算		19年度予想		増減 (d) - (c)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (c)	4-9月	年度 (d)	
モビリティ	1,952	3,954	1,950	4,300	346	201	427	210	445	18
ヘルスケア	712	1,466	700	1,600	134	63	136	60	155	19
フード & パッケージング	966	1,994	900	2,100	106	88	178	75	205	27
基盤素材	3,463	7,165	3,200	7,200	35	184	278	90	330	52
その他	116	250	100	200	△ 50	△ 39	△ 85	△ 55	△ 85	0
合計	7,209	14,829	6,850	15,400	571	497	934	380	1,050	116

4) セグメント別 営業利益の予想 (対前回予想：上期)

(単位：億円)

セグメント	営業利益			増減要因
	前回予想 (19.5.15) 4-9月	今回予想 4-9月	増減	
モビリティ	210	210	0	数量(-)、固定費等 (+)
ヘルスケア	60	60	0	
フード & パッケージング	75	75	0	数量(-)、固定費等 (+)
基盤素材	120	90	△ 30	交易(-)等
その他	△ 45	△ 55	△ 10	
合計	420	380	△ 40	
* 成長3領域	345	345	0	

* モビリティ、ヘルスケア および フード & パッケージング

5) 営業外損益及び特別損益の内訳

営業外損益

(単位：億円)

摘 要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
持分法投資損益	86	108	25	80	△ 28
金融収支	△ 3	△ 7	△ 10	△ 20	△ 13
為替差損益	8	△ 4	△ 6	△ 6	△ 2
その他の	△ 4	△ 1	△ 29	△ 4	△ 3
営業外損益 合計	87	96	△ 20	50	△ 46

5) 営業外損益及び特別損益の内訳

特別損益

(単位：億円)

摘 要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
資 産 売 却 益	2	37	1	1	△ 36
事 業 譲 渡 益	7	7	-	-	△ 7
受 取 保 険 金	-	114	-	-	△ 114
特別利益計 (A)	9	158	1	1	△ 157
固定資産処分・売却損	12	44	19	39	△ 5
減 損 損 失	7	14	6	6	△ 8
投資有価証券評価損	2	2	-	-	△ 2
関 連 事 業 損 失	-	-	6	6	6
火 災 に よ る 損 失	15	75	-	-	△ 75
特別損失計 (B)	36	135	31	51	△ 84
特別損益 合計 (A-B)	△ 27	23	△ 30	△ 50	△ 73

6) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘要	18年度決算		19年度予想		増減 (b)-(a)	19年度 前回予想 (19.5.15発表)	
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	535	1,095	530	1,250	155	580	1,250
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 268	△ 643	△ 530	△ 1,200	△ 557	△ 530	△ 1,200
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	267	452	0	50	△ 402	50	50
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 120	△ 141	△ 200	△ 150	△ 9	△ 40	△ 150
IV. その他	6	△ 1	—	—	1	—	—
現預金等増減	153	310	△ 200	△ 100	△ 410	10	△ 100

3. 補助資料

- 1) 製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上高・営業利益）
- 3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 財務データ
- 5) 地域別売上高比率

1) 製品価格の状況

(P E国内、P P国内、P H国内、B P A国内：国内価格改定幅)

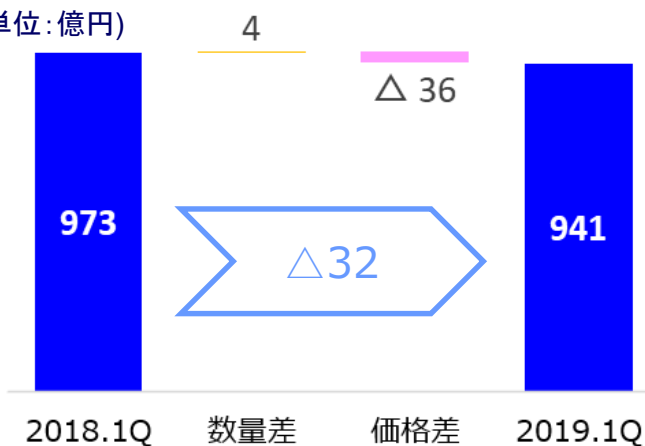
年		2016年		2017年				2018年				2019年	
月		7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月
国産基準 ナフ価格	(円/KL)	31,300	34,100	41,900	39,100	36,100	44,600	47,900	48,800	53,500	54,200	41,200	45,400
P E国内	(円/KG)	△10円 程度	→	+20円 程度	→	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度
P P国内	(円/KG)	△10円 程度	→	+20円 程度	→	△5円 程度	+10円 程度	+10円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	△15円 程度	+10円 程度
P H国内 (7-オミラ価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
B Z (*ACP)	(\$/T)	\$640	\$670	\$950	\$790	\$770	\$830	\$920	\$850	\$860	\$770	\$580	\$620
B P A国内	(円/KG)	→	→	+20円 (3月~)	→	→	→	→	→	→	→	→	△15円 (4月~)
BZ・BPA市況をベースに都度交渉													
B P A 中国市況	(\$/T)	\$1,130	\$1,170	\$1,360	\$1,200	\$1,220	\$1,420	\$1,670	\$1,800	\$1,810	\$1,550	\$1,450	\$1,410
P T A 中国市況	(\$/T)	\$610	\$610	\$670	\$630	\$640	\$690	\$760	\$810	\$960	\$910	\$840	\$790
P X (*ACP)	(\$/T)	\$790	\$790	\$890	\$810	\$800	\$890	\$950	\$980	\$1,140	\$1,140	\$1,060	\$910
T D I 中国市況	(\$/T)	\$2,360	\$3,590	\$3,480	\$3,500	\$3,680	\$4,380	\$4,470	\$4,150	\$3,400	\$2,480	\$1,730	\$1,790

*ACP アジア圏契約価格

2-1) モビリティセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2019年度第1四半期決算 対 2018年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 +4億円

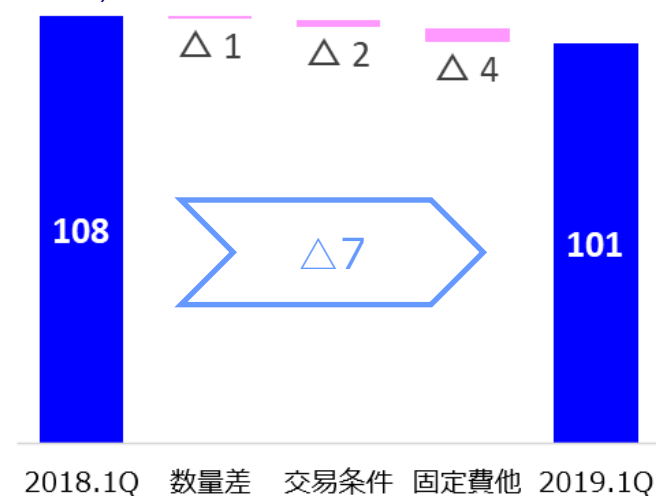
- ・エラストマー、機CPはグローバル自動車生産の減速の影響を受けた。
- ・PPCPDは日系顧客向け中心に販売を維持。
- ・ICT関連用途の確実な需要に対応。

◆価格差 Δ36億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定等。

営業利益増減 (2019年度第1四半期決算 対 2018年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 Δ1億円

- ・エラストマー、機CPはグローバル自動車生産の減速の影響を受けた。
- ・PPCPDは日系顧客向け中心に販売を維持。
- ・ICT関連用途の確実な需要に対応。

◆交易条件 Δ2億円

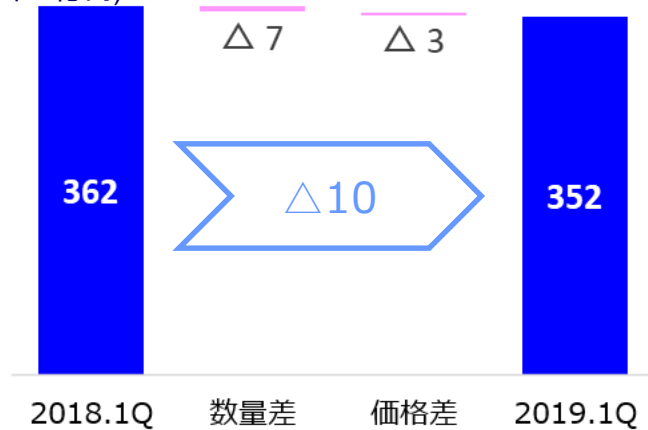
◆固定費他 Δ4億円

- ・研究開発費等の資源投入。

2-2) ヘルスケアセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2019年度第1四半期決算 対 2018年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



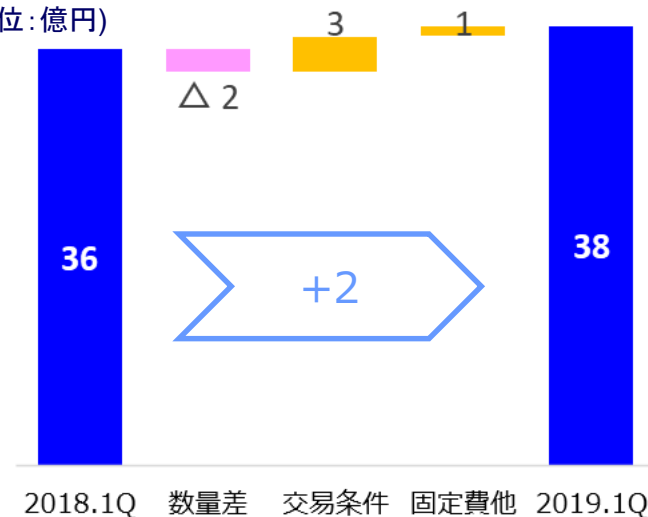
◆数量差 △7億円

- ・不織布の販売減少。
- ・ビジョンケア材料及び歯科材料の販売堅調。

◆価格差 △3億円

営業利益増減 (2019年度第1四半期決算 対 2018年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 △2億円

- ・不織布の販売減少。
- ・ビジョンケア材料及び歯科材料の販売堅調。

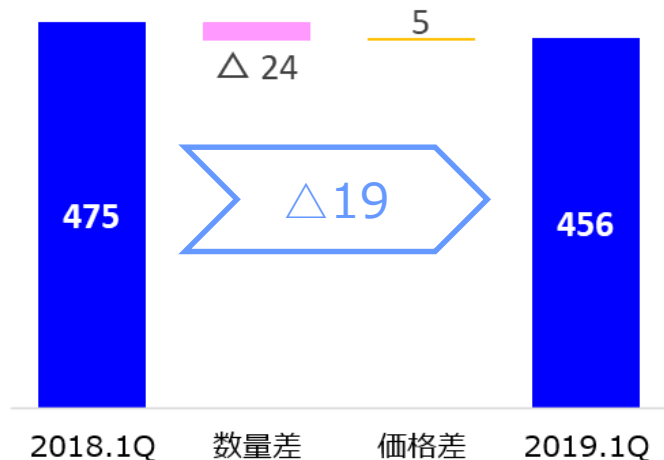
◆交易条件 +3億円

◆固定費他 +1億円

2-3) フード&パッケージングセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2019年度第1四半期決算 対 2018年度第1四半期決算)

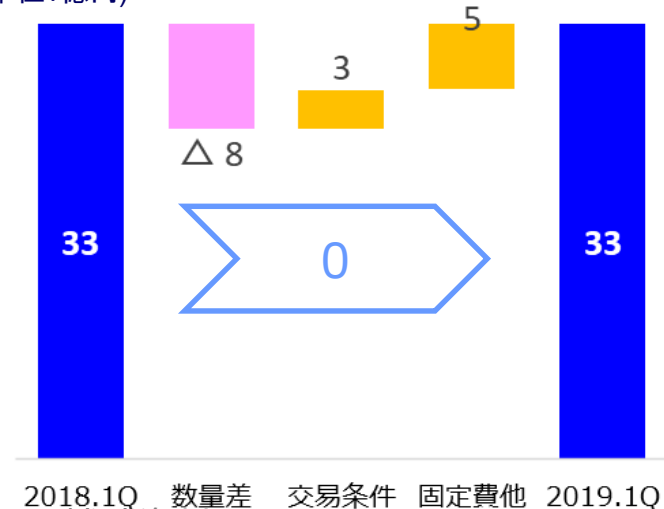
(単位: 億円)



- ◆数量差 △24億円
 - ・包装フィルムの販売減少。
 - ・販売時期ずれによる農薬の減販。
- ◆価格差 +5億円

営業利益増減 (2019年度第1四半期決算 対 2018年度第1四半期決算)

(単位: 億円)

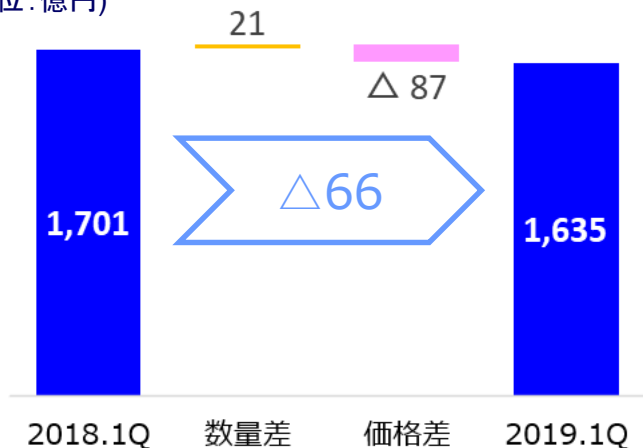


- ◆数量差 △8億円
 - ・包装フィルムの販売減少。
 - ・販売時期ずれによる農薬の減販
- ◆交易条件 +3億円
 - ・原料価格下落等による交易条件改善。
- ◆固定費他 +5億円
 - ・コストダウン等。

2-4) 基盤素材セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2019年度第1四半期決算 対 2018年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



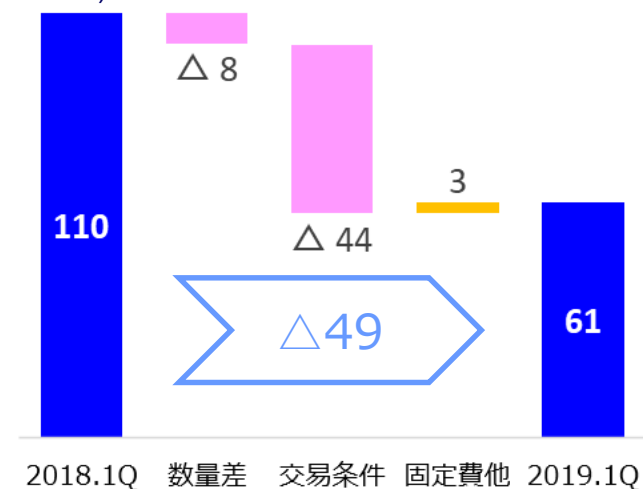
◆数量差 +21億円

◆価格差 Δ 87億円

- ・原燃料価格下落による販売価格の改定等。
- ・海外市況下落等。

営業利益増減 (2019第1四半期年度決算 対 2018年度第1四半期決算)

(単位: 億円)



◆数量差 Δ 8億円

◆交易条件 Δ 44億円

- ・海外市況下落等。

◆固定費他 +3億円

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (四半期別)

売上高推移

(単位：億円)

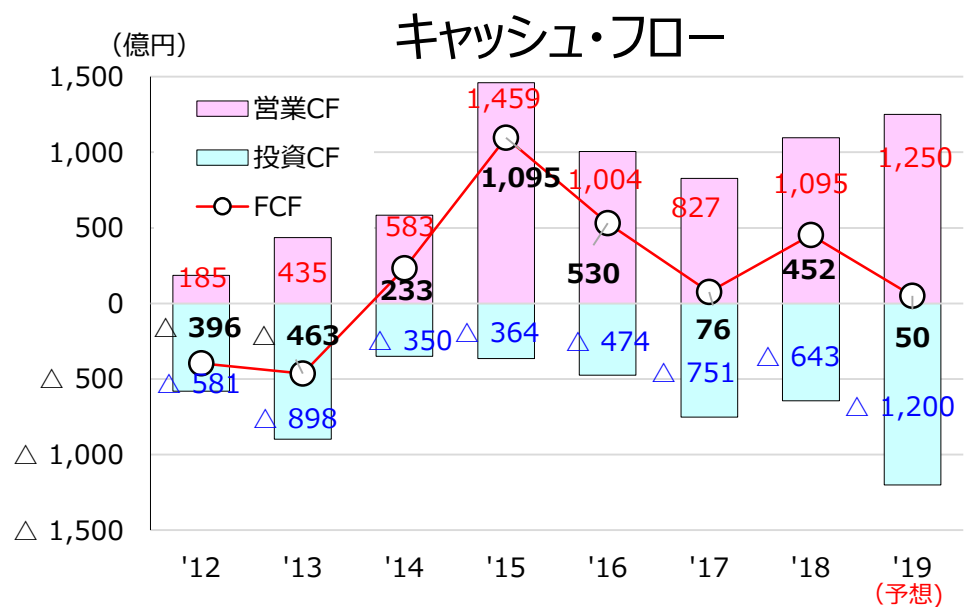
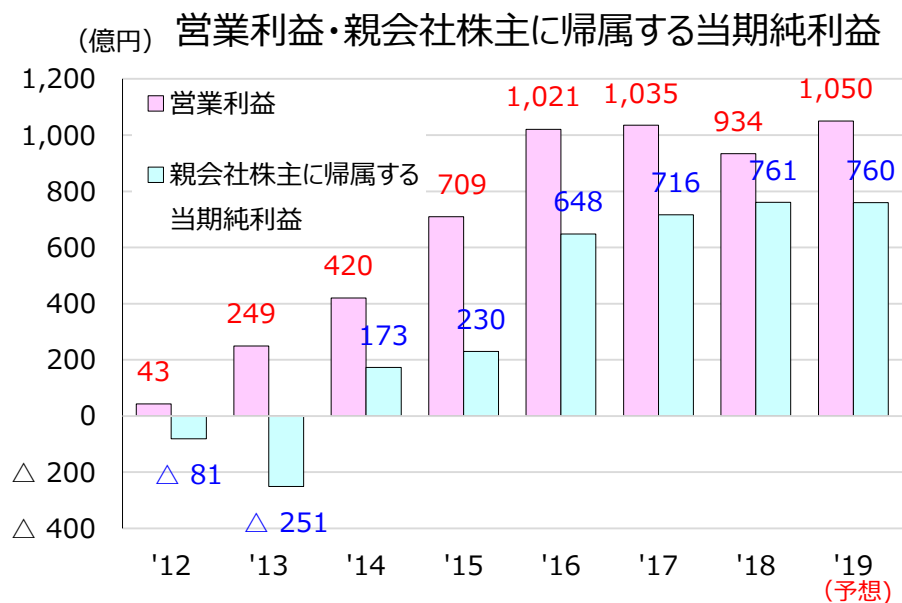
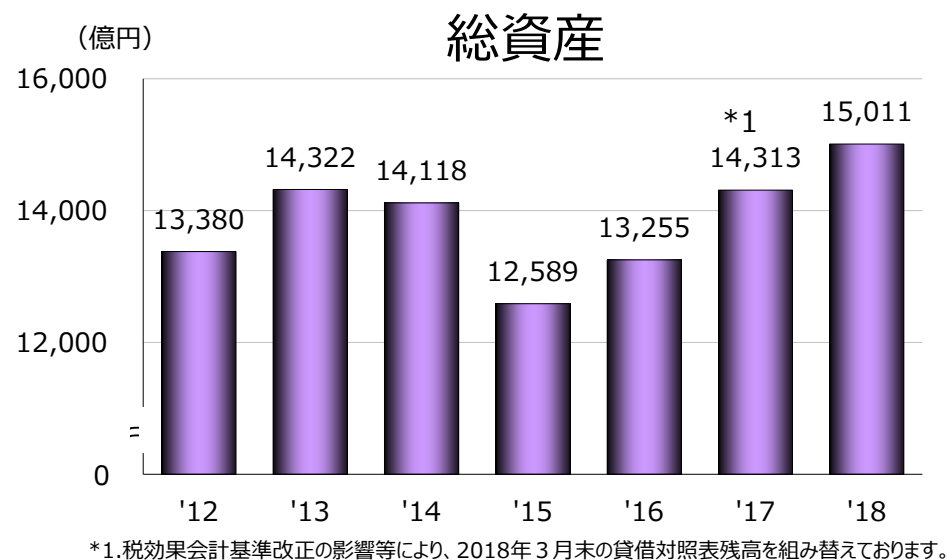
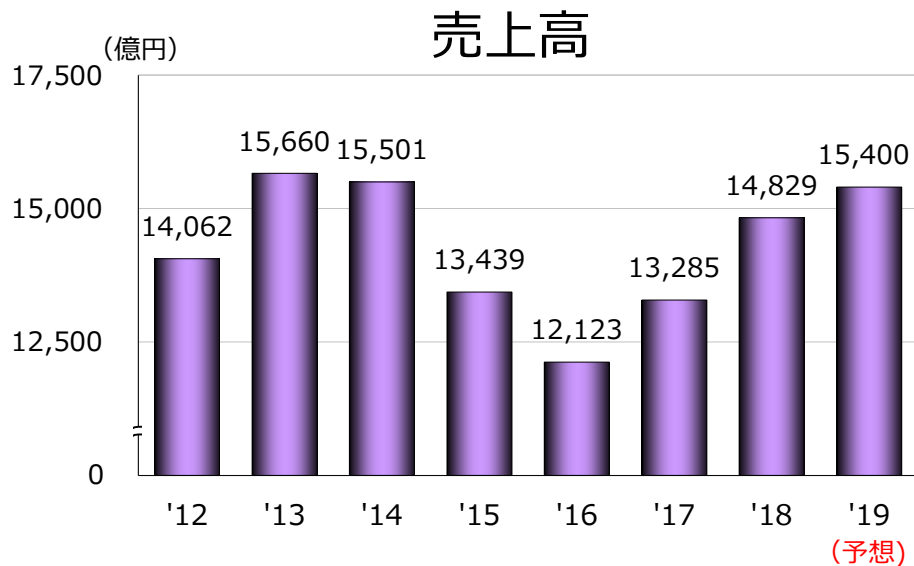
セグメント	18年度				19年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
モビリティ	973	979	993	1,009	941
ヘルスケア	362	350	385	369	352
フード&パッケージング	475	491	499	529	456
基盤素材	1,701	1,762	1,994	1,708	1,635
その他	52	64	68	66	44
合計	3,563	3,646	3,939	3,681	3,428

営業利益推移

(単位：億円)

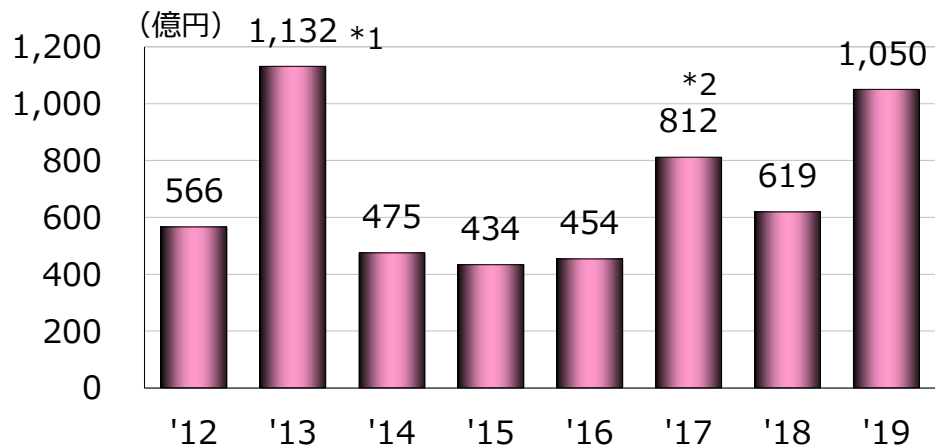
セグメント	18年度				19年度
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月	4-6月
モビリティ	108	93	114	112	101
ヘルスケア	36	27	34	39	38
フード&パッケージング	33	55	30	60	33
基盤素材	110	74	91	3	61
その他	△ 24	△ 15	△ 20	△ 26	△ 26
合計	263	234	249	188	207

4-1) 財務データ



4-2) 財務データ

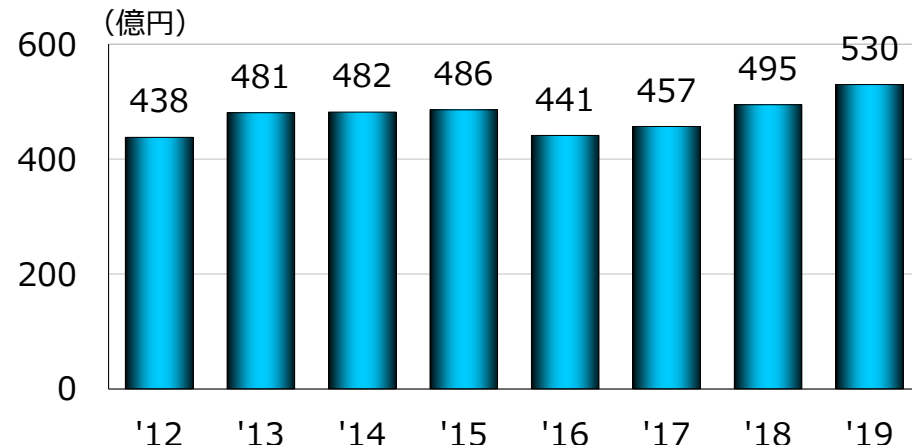
設備投資額



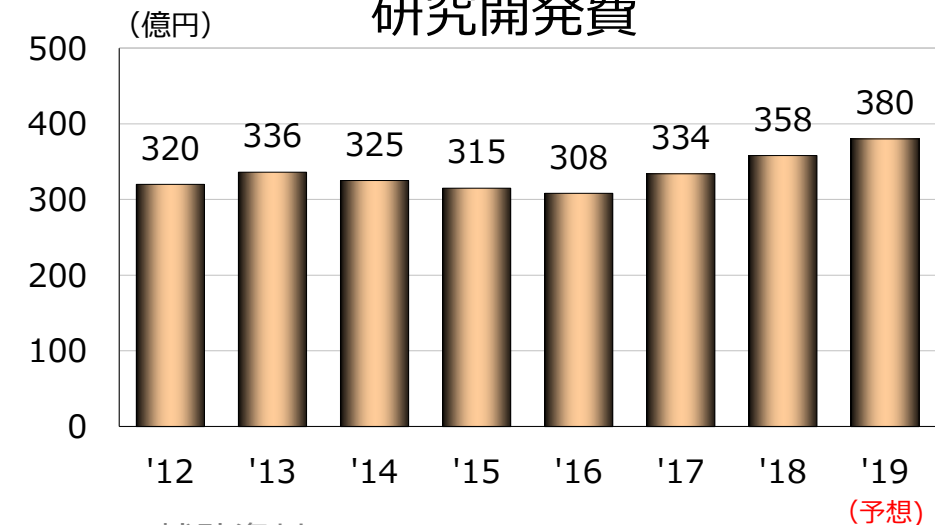
*1. ヘルス社歯科材料事業買収影響 (560億円) を含む

*2. アーク社株式取得影響(239億円)を含む

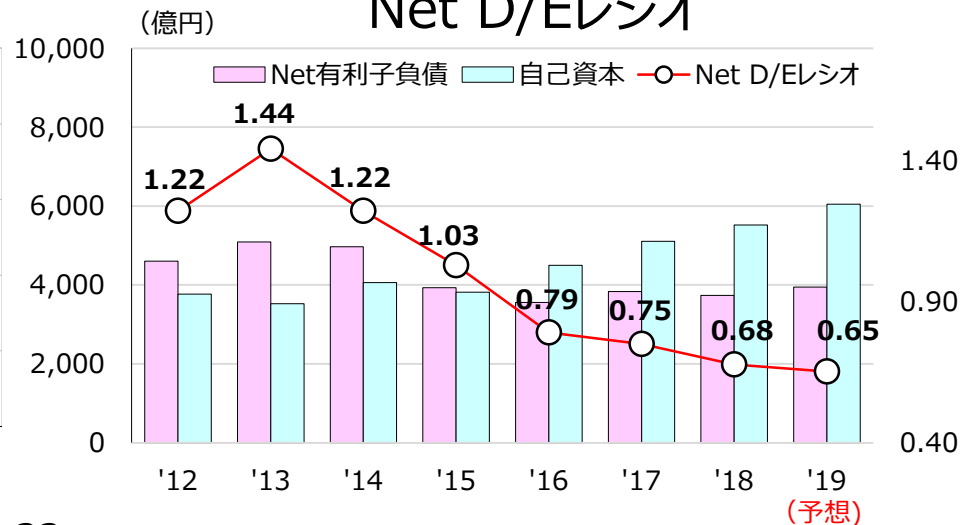
減価償却費



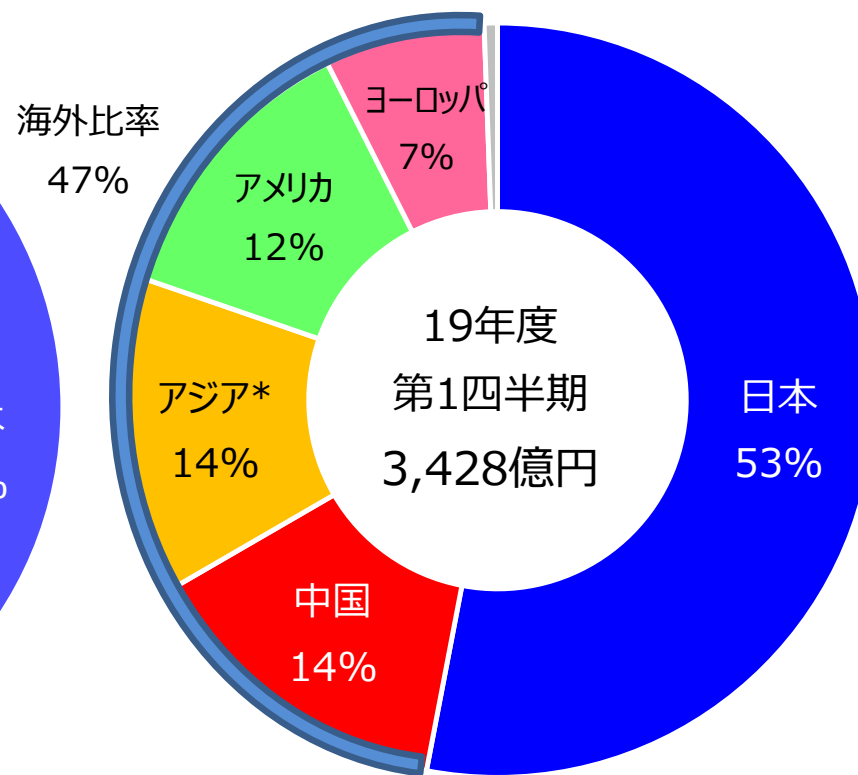
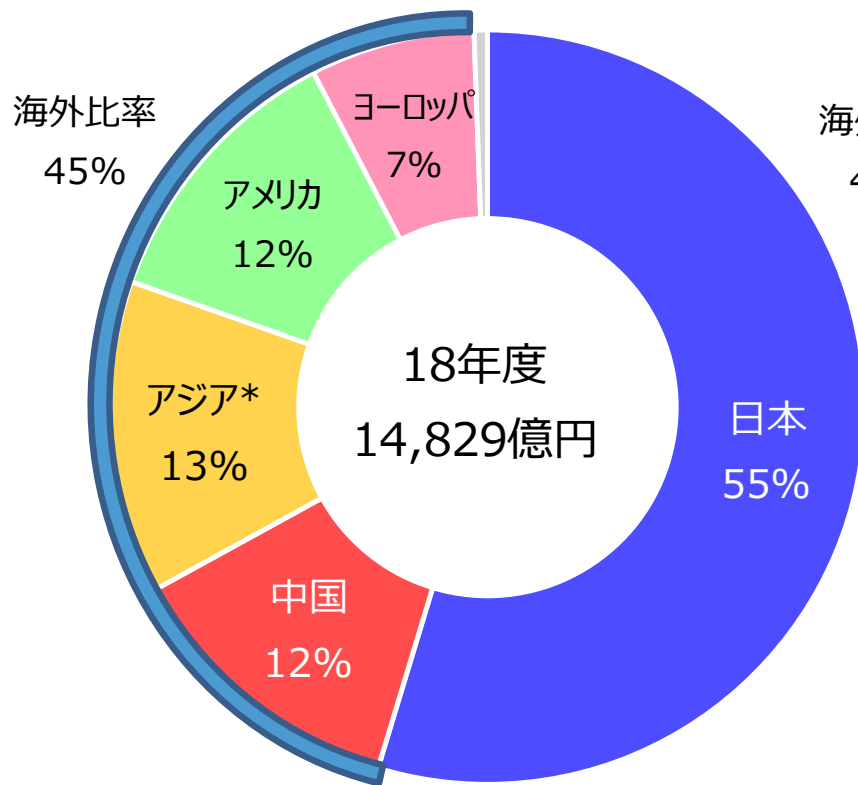
研究開発費



Net D/Eレシオ



5) 地域別売上高比率



* アジア：日本及び中国を除く



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する